

施設における感染対策

感染対策の考え方

★ケアの流れ★



標準予防策： 感染症があるか無いかわからないが誰にでも行う対策
例) 手洗い・日常清掃・必要に応じた防護具装着

経路別感染予防策： 感染症がわかって行う対策

接触感染対策

手指衛生・手袋・エプロン(ガウン)等

感染症例: ノロウイルス・疥癬・腸管出血性大腸菌

飛沫感染予防策

手指衛生・マスク等

感染症例: インフルエンザ・新型コロナ・風しん

組み合わせて感染対策

空気感染対策

N95 マスク・個室管理

※高齢者においては入院加療が必要な場合が多い。入院になるまでは、原則個室管理。

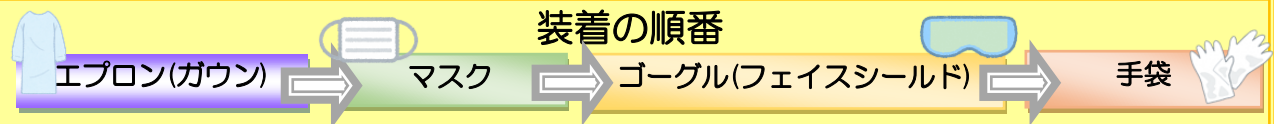
感染症例: 結核菌・麻しん・水痘

出典: 介護現場における(施設系通所系訪問系サービスなど)感染対策の手引き第2版(厚生労働省老健局令和3年3月) 一部改訂

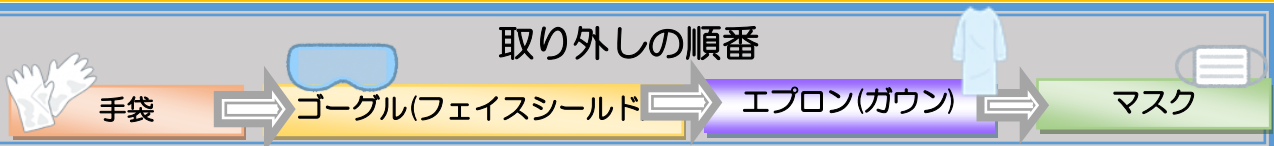
★个人防护具を組み合わせた場合の着脱方法★

出典: INFECTION CONTROL 26 巻4号

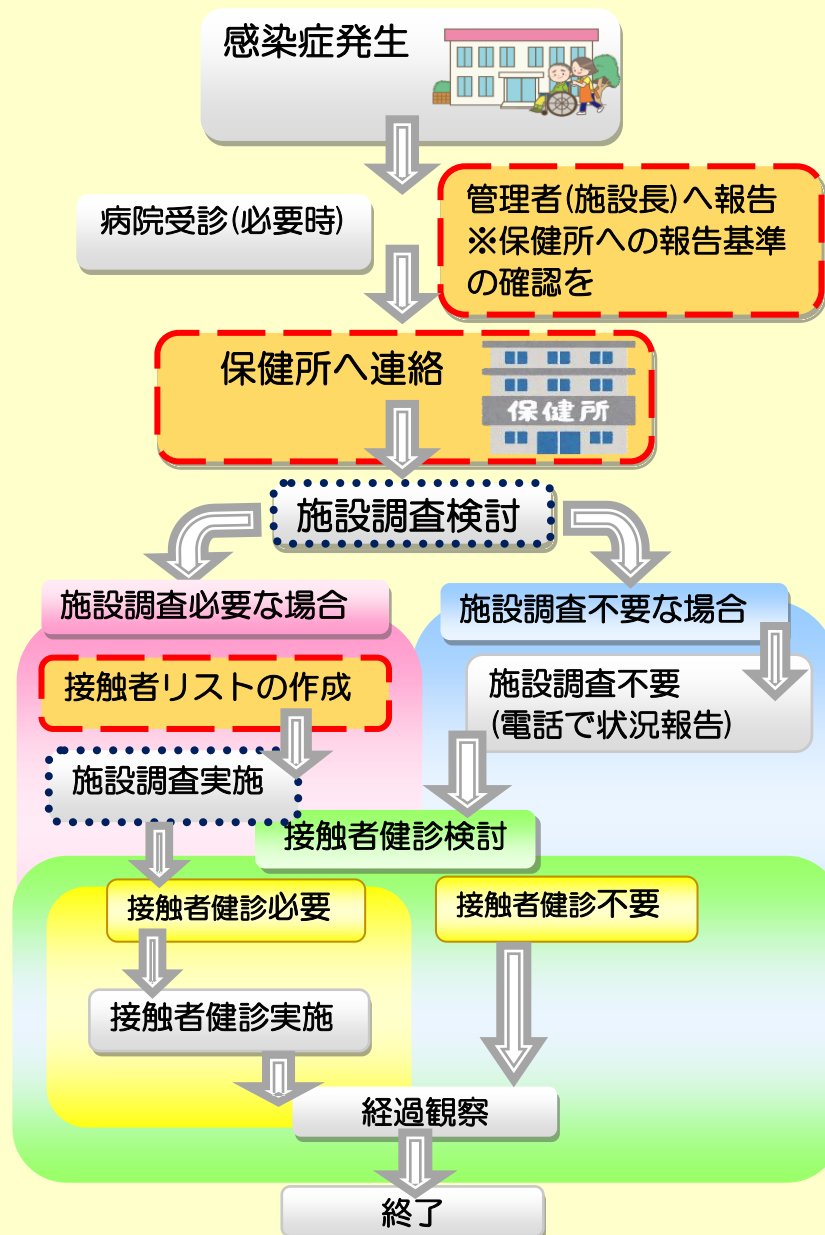
装着の順番



取り外しの順番



感染症発生時の報告の流れ



★おう吐物処理の方法★

作業の前に周囲の環境を確認！

★おう吐物に他の人が近づかないようにしましょう

★換気をしましょう(窓を開ける等)

①手袋、マスク、エプロンを着用します。

②おう吐物は使い捨てペーパータオル等で外側から内側に向けて、拭き取り面を折り込みながら静かに拭き取ります。



②

③使用した使い捨ての布やペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れる。0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液を入れ、封をして蓋付きの汚物専用のゴミ箱に処分します。



③

★エプロン(ガウン)の外し方★

- ①首の後ろのひもを切る。 ②前あてを前にたらす。 ③裾を手前に持ち上げ、汚染面を中に折り込んで、3つ折りにする。



端を持つか、裏からすくい上げる

- ④腰の後ろのひもを切る。 ⑤汚染した表面を中にしてたたみ、縛って小さくまとめ、廃棄する。



⑥脱いだ後は、手指衛生を行う。

施設で流行しやすい感染症

侵入・感染経路	病原体
利用者だけでなく、職員も感染し媒介者となる可能性	【ウイルス】 インフルエンザウイルス ノロウイルス 新型コロナウイルス 【細菌】 結核菌 肺炎球菌 【その他】 ヒゼンダニ(疥癬虫)
免疫力が低下している人に発症する可能性	【細菌】 MRSA などの薬剤耐性菌 緑膿菌 など
感染者の血液等を媒介して感染する可能性	【ウイルス】 肝炎ウイルス HIV 【細菌】 梅毒トレポネーマ

施設における感染症対策



なにか困っていることはありませんか

まずはご相談ください！

高齢者は症状がわかりにくいので日頃の健康観察が大切です

「いつもとなにか違う感じがする…」
 「施設内でいつもより感染が多いかも？」
 と気づいたら、保健所へご相談ください

お問合せ先

久留米市保健所保健予防課 感染症チーム

住所：〒830-0022

福岡県久留米市城南町 15 番地 5

電話番号：0942-30-9730

FAX 番号：0942-30-9833

